



報道関係各位



2021年4月1日

ビール酒造組合

2021年度 「STOP!20歳未満飲酒」 プロジェクトについて

ビール酒造組合（会長代表理事：塩澤 賢一）及び会員であるビール5社（アサヒビール(株)・キリンビール(株)・サッポロビール(株)・サントリービール(株)・オリオンビール(株)）は、20歳未満飲酒防止を目的として2005年から展開している「STOP!20歳未満飲酒」プロジェクトを2021年も継続して実施してまいります。

毎年4月と12月に、媒体は交通広告を中心に、全国9エリア（首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市、那覇市）で展開してきました。2020年は社会情勢変化に伴う電車利用減を鑑み、12月にデジタルメディア広告展開を追加投入しました。当施策は新たな広告媒体として接点増につながっており、2021年4月はデジタルメディア広告に特化し展開いたします。

また、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア業界との連携や、カラオケボックス業界の協力も得て、各店頭・店舗で「STOP!20歳未満飲酒」告知ツール掲出を実施しております。

2020年度調査では、20歳未満飲酒防止のシンボルマーク認知率86.2%（東阪計）・広告認知率52.3%（東阪計）となっており、継続した取組みが重要との認識です。

厚生労働省の調査によると、20歳未満飲酒率は2000年度以降低下傾向であり、当取組みも貢献していると思われる。

■プロジェクト展開期間

2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木)

■展開メッセージ

「なぜ、20歳未満での飲酒はいけないのか」を、主に20歳未満の人の身体への影響の観点と、20歳未満の人を取り巻く社会の観点からメッセージを作成し展開します。

■2021年4月の展開内容

1. デジタルメディア広告

SNS等のデジタルメディア広告において、20歳未満飲酒防止のメッセージ告知を行います。

2. コンビニエンスストア・スーパーマーケット・ドラッグストア・カラオケボックスの店頭・店舗での告知
 日本フランチャイズチェーン協会様、日本ボランティアチェーン協会様、日本カラオケボックス協会連合会様の協力を得て、各協会加盟社の店頭・店舗で、「STOP!20歳未満飲酒」のシンボルマークをデザインしたツール類を使用し、20歳未満飲酒防止の告知を実施します。

■ 広告メッセージ



「きっぱり、断る。」

STOP! 20歳未満飲酒

「なぜ、20歳未満の飲酒が法律で禁止されているのか？それは私たち10代のだいじなカラダを守るため」という自覚。



「大人が、すすめない。」

STOP! 20歳未満飲酒

10代の飲酒のリスクを知った。

「まあ、飲めよ」なんて、絶対に言えなくなった。

■ 店頭・店舗告知ツールイメージ

<ポスター>



<ステッカー>



<スイングPOP>



※店頭・店舗により、掲出ツールは異なります

<主催> ビール酒造組合

<後援> 国税庁 内閣府 厚生労働省

この件に関するお問合せ先：

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区銀座1-16-7 TEL:03(3561)8386 FAX:03(3561)8380

ホームページ <https://www.brewers.or.jp>